

問1 1991年に起きたソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）の解体と、その当時の世界情勢に関する説明として最も適切なものを選びなさい。（2016年

茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 東欧諸国での民主化運動の高まりや、マルタ会談による冷戦の終結宣言を経て、連邦を構成していた各共和国が独立を宣言した。 | 2. 国際連合への加盟が承認されたことをきっかけに、安全保障上の役割を終えたとして自ら連邦を解消する道を選んだ。 | 3. 日本で公害対策のために環境庁が設置された時期と重なり、世界的に環境保護を優先する政治体制へと移行した。 | 4. 第二次世界大戦直後の混乱の中で、GHQの指令による農地改革などの民主化政策が国内で進んだ結果、解体に至った。 |
|---|--|--|---|

問2 1980年代後半から1990年代にかけての日本経済の動きについて、その背景や推移を説明した内容として最も適切なものを選択してください。

（2026年 高知県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 1950年代に隣国で発生した戦争による物資の需要に応えることで、日本の工業生産が急速に回復し、戦後復興の足がかりとなった。 | 2. 1960年代に政府が国民の所得を2倍にする計画を立て、重化学工業を中心に年率10%を超える高い経済成長を長期間継続した。 | 3. 第一次世界大戦によってヨーロッパからの輸出が途絶えたことで、アジア市場への輸出が急増し、日本は未曾有の好景気に沸いた。 | 4. 土地や株式への投資が過熱して価格が実態とかけ離れて上昇したが、1990年代初めにそれらの価格が急落して景気が後退した。 |
|--|---|--|--|

問3 1970年代に発生した「石油危機（オイル・ショック）」が、日本の経済成長に与えた影響と、その後の社会の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 輸出を制限して輸入を促進する政策がとられ、貿易摩擦を解消するために円安誘導が行われた。 | 2. エネルギー源が石炭から石油へと転換するエネルギー革命が始まり、重化学工業が飛躍的に発展した。 | 3. 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。 | 4. 景気が過熱して地価や株価が異常に値上がりするバブル経済が発生し、消費が大幅に拡大した。 |
|--|---|--|--|

問4 バブル経済期における日本の状況とその崩壊について、背景や仕組みを説明したものとして適切なものを選択してください。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地を持っていれば必ず値上がりするという土地神話が広まり、多額の資金が不動産投資に向けられた。 | 2. 企業の合併や統合が進んだことで失業者が減少し、物価が継続的に下落するデフレーションが発生した。 | 3. 重化学工業から知識集約型産業への転換が進み、国全体が安定成長期へと移行するきっかけとなった。 | 4. 世界的な不況により企業の倒産が相次いだため、政府が公共投資を削減して財政再建を優先させた。 |
|--|--|---|--|

問5 第二次世界大戦後から長らく続いた、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営による「冷戦」の終結が宣言された会談の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------|----------|-----------|----------|
| 1. サンフランシスコ平和会議 | 2. ヤルタ会談 | 3. ポツダム会談 | 4. マルタ会談 |
|-----------------|----------|-----------|----------|

問6 湾岸戦争が勃発した背景や、その際にとられた国際的な対応について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 冷戦の影響により、アメリカとソ連がそれぞれ別々の陣営を支援して対立が激化した。 | 2. 国際社会の秩序を乱すクウェート侵攻に対し、国連の決議に基づいて多国籍軍が結成された。 | 3. 共産主義勢力の拡大を阻止することを目的として、北米自由貿易協定に基づき軍が派遣された。 | 4. 民族紛争を解決するため、ヨーロッパ諸国を中心とするNATO（北大西洋条約機構）のみが展開した。 |
|--|---|--|--|

問7 1955年から約38年間にわたって自民党が政権を担い続けた「五五年体制」が1993年に崩壊した際、細川護熙を首相として誕生した政権の形態として正しいものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 憲法改正を目的として全政党が参加した挙国一致内閣 | 2. 自民党と日本共産党が政策協定を結んだ連立内閣 | 3. 自民党と共産党を除いた八つの党派によって構成された連立内閣 | 4. 日本社会党が過半数を獲得して組織した単独内閣 |
|-----------------------------|---------------------------|----------------------------------|---------------------------|

問8 1989年、地中海の島国においてアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が会談を行い、第二次世界大戦後から長く続いた対立構造に終止符が打たれました。この出来事の名称と、そこで宣言された内容の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------|------------------|-------------------------|----------------------|
| 1. サンフランシスコ平和会議 — 日本の主権回復と独立 | 2. マルタ会談 — 冷戦の終結 | 3. ポツダム会談 — 日本への無条件降伏勧告 | 4. ヤルタ会談 — 国際連合の設立準備 |
|------------------------------|------------------|-------------------------|----------------------|

問9 1989年には東欧諸国で民主化運動が激化し、分断の象徴であったベルリンの壁が崩壊するなど、社会主義体制が大きく揺らぎました。こうした激動の国際情勢の中で開催された「マルタ会談」が世界史において果たした役割について、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アメリカとソ連が共同でベトナム戦争に介入し、社会主義勢力を抑え込むことを合意した。 | 2. 核兵器の完全廃棄を決定し、国際連合の管理下で全ての大量破壊兵器を撤去することを宣言した。 | 3. アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。 | 4. 第二次世界大戦後のドイツを、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連の4カ国で分割統治することを決定した。 |
|--|---|--|---|

問10 日本の伝統的な食文化である「和食」が、ユネスコ無形文化遺産に登録される一方で、現代社会においてその継承が課題となっている背景を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。（2022年 広島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 年中行事の簡略化が進み、特定の季節に特別な料理を食べる習慣が日本から完全に消滅したこと | 2. 外食の日常化や調理機会の減少により、家庭内で伝統的な調理技術を伝える場が失われつつあること | 3. 健康への関心の高まりによって、塩分を含む伝統的な保存食がすべて法律で否定されたこと | 4. 海外からの輸入食材の使用が全面的に禁止されたため、伝統的な献立を再現できなくなったこと |
|--|--|--|--|

問11 1989年、分断された東西ドイツの象徴となっていたベルリンの壁が市民によって壊され、人々の喜びが世界中に報じられました。この出来事と同じ年に地中海の島で開催され、アメリカとソ連の首脳が長年続いた対立の歴史に幕を閉じることを合意した会談の名称と、その宣言内容の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 1. マルタ会談において、ソビエト社会主義共和国連邦の解体を宣言した | 2. ポツダム会談において、日本の無条件降伏を勧告した | 3. ヤルタ会談において、戦後のドイツ分割統治を決定した | 4. マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した |
|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------|

問12 1980年代後半から1990年代初頭にかけて、日本の経済において土地や株式の価格が、実体経済の動きとは無関係に異常に高騰した好景気のことを何と呼びますか。（2020年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-----------|----------|------------|
| 1. バブル経済 | 2. 高度経済成長 | 3. 安定成長期 | 4. デフレーション |
|----------|-----------|----------|------------|

問13 1989年12月、東ヨーロッパ諸国で民主化運動が高まるなか、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ共産党書記長が地中海の島で会談を行い、第二次世界大戦後から続いた対立構造の終結を宣言しました。この会談を何といいますか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------------|
| 1. ポツダム会談 | 2. ヤルタ会談 | 3. マルタ会談 | 4. サンフランシスコ平和会議 |
|-----------|----------|----------|-----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 東欧諸国での民主化運動の高まりや、マルタ会談による冷戦の終結宣言を経て、連邦を構成していた各共和国が独立を宣言した。	1989年のベルリンの壁崩壊やマルタ会談によって東西冷戦が終結に向かう中、ソ連内部でも自由化・民主化を求める動きが加速しました。1991年には保守派によるクーデターの失敗などを経て、ロシアやウクライナなどの各共和国が次々と独立を宣言し、ソ連は消滅しました。他の選択肢にある環境庁設置（1971年）、国際連合加盟（1956年）、農地改革（1946年開始）は、いずれもソ連解体とは時代背景が異なる日本の出来事です。
問2	答え 4 土地や株式への投資が過熱して価格が実態とかけ離れて上昇したが、1990年代初めにそれらの価格が急落して景気が後退した。	バブル経済は、過剰な投資によって地価や株価が異常に高くなったことが最大の特徴です。この異常な高騰が1990年代初めに終わりを迎え、価格が暴落したことは「バブル崩壊」と呼ばれ、その後の長期的な景気停滞の原因となりました。他の選択肢は朝鮮特需、高度経済成長、大戦景気に関する説明です。
問3	答え 3 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。	1973年の石油危機により、原油価格の高騰から狂乱物価と呼ばれる激しいインフレが起こりました。これにより、1950年代半ばから続いていた実質経済成長率10%前後の「高度経済成長」が終わり、1974年には戦後初のマイナス成長を記録しました。その後、日本は省資源・省エネルギー化を進め、緩やかな「安定成長」の時代へと入ることになります。
問4	答え 1 土地を持っていれば必ず値上がりするという土地神話が広まり、多額の資金が不動産投資に向けられた。	バブル経済の背景には、土地の価格は決して下がらないという「土地神話」がありました。銀行などの金融機関は土地を担保に積極的に融資を行い、企業や個人はその資金でさらなる土地や株式を購入したため、価格の異常な上昇に拍車がかかりました。崩壊後は多額の借金が残る「不良債権問題」へと発展し、日本経済に深刻なダメージを与えました。
問5	答え 4 マルタ会談	1989年に地中海のマルタ島で、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が会談を行い、東西対立（冷戦）の終結を世界に向けて宣言しました。これにより、戦後の国際政治における大きな転換点となりました。
問6	答え 2 国際社会の秩序を乱すクウェート侵攻に対し、国連の決議に基づいて多国籍軍が結成された。	イラクによるクウェート侵攻は、主権国家に対する不当な侵害として国際的な非難を浴びました。冷戦が終結に向かっていった時期であったため、国際連合が有効に機能し、アメリカやイギリス、さらにはアラブ諸国も含む広範な多国籍軍が組織されてイラクを撤退に追い込みました。
問7	答え 3 自民党と共産党を除いた八つの党派によって構成された連立内閣	1990年代初頭、政治汚職事件などを背景に自民党への批判が高まり、1993年の総選挙で自民党が過半数を割り込みました。その結果、日本社会党や日本新党など、自民党と共産党以外の勢力が結集し、細川護熙を首班とする非自民・非共産の連立内閣が成立しました。これにより、1955年から続いていた自民党の単独優位体制（五五体制）が一時的に終焉を迎えました。
問8	答え 2 マルタ会談 ― 冷戦の終結	1980年代後半、ソ連のゴルバチョフ書記長が「ペレストロイカ（改革）」を推進して東西の緊張緩和（デタント）が進みました。1989年12月に地中海のマルタ島で行われた首脳会談で、アメリカのブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長が公式に「冷戦の終結」を宣言したことで、世界情勢は大きな転換点を迎えました。
問9	答え 3 アメリカとソ連の首脳が、資本主義と社会主義の陣営による長年の対立関係が終わったことを宣言した。	1989年は東欧の社会主義諸国で民主化が進み、11月にはベルリンの壁が崩壊しました。この直後の12月に開催されたマルタ会談において、米ソ首脳が冷戦の終わりを正式に認めたことで、1940年代後半から続いてきた「冷戦」という特殊な国際秩序が消滅しました。選択肢にあるベトナム戦争は1970年代に終結しており、ドイツの分割統治は1945年のヤルタ会談やポツダム会談に関連する出来事です。
問10	答え 2 外食の日常化や調理機会の減少により、家庭内で伝統的な調理技術を伝える場が失われつつあること	現代の日本では、生活スタイルの変化に伴い外食や加工食品の利用が日常的になっています。これにより、家庭で出汁（だし）をとるなどの基本的な調理を行う機会が減り、親から子へと受け継がれてきた伝統的な食文化の継承が困難になっていることが大きな社会課題となっています。
問11	答え 4 マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した	1989年に東西分断の象徴であるベルリンの壁が崩壊したことを受け、同年に開催されたマルタ会談でアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ最高会議議長が対談しました。この場で、第二次世界大戦後から続いていた資本主義陣営と社会主義陣営の対立構造である「冷戦」の終結が公式に宣言されました。ソ連の解体は1991年の出来事であり、会談での宣言内容とは区別する必要があります。
問12	答え 1 バブル経済	1980年代後半、円高対策としての金融緩和などを背景に、投資目的の資金が土地や株式に集中しました。その結果、価格が実体経済の規模を超えて膨れ上がりましたが、1990年代初頭にこれらが急落（崩壊）し、日本経済は「失われた20年」と呼ばれる長期的な不況に陥ることとなりました。
問13	答え 3 マルタ会談	1989年は「ベルリンの壁」が崩壊するなど、東欧の共産主義体制が次々と崩れた年でした。この劇的な情勢の変化を受け、米ソの両首脳が地中海のマルタ島で集まり、長きにわたる冷戦の終結を世界に宣言しました。第二次世界大戦末期に冷戦の端緒となったヤルタ会談と対比して語られることが多い重要な出来事です。